

吹上小学校だより 「 夢いっぱい 輝く瞳 光る汗 」 令和4年3月1日



# コスモス

弥生

No. 1 1

【知】進んで学びよく考える子 【徳】明るく思いやりのある子 【体】たくましくねばり強い子



## 人生は、一つ一つの積み重ね

校長 荻野 浩

「雪が溶けて 川になって 流れて行きます」  
「つくしの子が はずかしげに 顔を出します」  
「もうすぐ春ですね」 ～ ♪

昔、大好きだったグループが歌った「春一番」の歌詞が、頭の中を流れています。寒かった2月も過ぎ、本日からはいよいよ春めく3月となります。(思いを込めて)

学校も一年間の総まとめと、次年度に向けての準備が本格的になっていきます。児童にとっては、今の学年が終了する寂しさと、次の学年に向けてのドキドキ感が高まっていく頃です。しかし、児童の皆さんには、まず今の学習と生活にきちんと区切りをつけ、積み残すことなく成果と課題を確認してから、次の準備に進んで欲しいと願っています。

「今の学年のことは、今の学年のうちに」です。児童の皆さん、しっかり頼みます。

朝、吹上支所前の交差点で登校指導をしていると、通学班の班長・副班長を中心に、1年生～6年生が、きちんと一列に並んで歩いてくる様子が毎日見られます。時には、班から遅れ、慌てて追いつこうとしている児童も見かけますが、そんな時の通学班は、心なしか追いつくのを待つかのように少しゆっくりと歩いているような気がします。そのような姿を見ると、毎日、決まった時刻に家を出て、集合場所に集まり、交通事故に気を付けて登校する。しかも6年間毎日続けるということは、当たり前だけど、すごいこと・素晴らしいことだと感じています。

上の学年は、下の学年に声をかけたり、時には重い荷物を持ってあげたりし、反対に下の学年は、上の学年の言うことをしっかりと守り、交通ルールや安全な歩き方を身に付けようとしています。毎日小さなことの繰り返しですが、通学班という異年齢集団としての活動が、班としての力を高め、自立する力に繋がっていくのだと強く感じています。

さあ、明日からも安全に気を付けて、通学班のみんなで、元気に登校してきましょう。待ってます。

登校指導を終え、校長室に戻る途中、毎日コスモス学級と1年生の3学級に立ち寄ります。コスモス学級や1年生の教室に声をかけると、いつも、元気のよい気持ちの良い挨拶が返ってきます。登校後の忙しい時間帯ですから、ランドセルの中身を机の中にしまっている子、昨日の宿題や健康観察カードを提出している子、体育着に着替えている子など、子どもたちにとってもやることが一杯です。しかし、どの学級とも、今、自分が何をなすべきか、次にどうすればよいのかをしっかりと理解しています。

入学したての頃は、登校後、自分の椅子に座ってじっとしていることが多かったのですが、この一年間で、見通しをもって、やるべきことを時間内にこなすことができるようになりました。みんなが気持ちよく学校生活を送るためには、大切な力です。そして、このような様子は、吹上小学校のどの学級でも見られます。個人として何をなすべきか、集団としてどうやっていくことが、楽しい学校生活になるのかを、子どもたちが理解し、実践力を身につけていると言えます。

少し大げさなことに聞こえるかもしれませんが、学校生活における小さな活動の積み重ねが、人としての力量を高め、互いの立場を理解しながら、よりよい生活を営むことに繋がっていると、私は考えています。(家庭生活も同じです)

子どもたちの人生はこれからです。毎日の活動を確実にこなすこと、そして、一つ一つのことを、自分の力で積み上げられる吹っ子に成長していくことを、私は願っています。**頑張れ！吹っ子。**